

日本財託が名古屋支店開設

首都圏マンションへ投資提案



日本財託名古屋支店のエントランス

日本財託名古屋支店のエントランス。同社は5年前から名古屋市内でセミナーを開催しており、参加者は

投資用マンションの販売・管理を手掛ける日本財託(本社東京都新宿区)は、名古屋市内に初の支店を開設した。中部地区の不動産投資家に、東京23区と神奈川県の一部の中古ワンルームマンションの投資を提案する。製造業を中心に景況感の改善傾向が強い中部地区で、新規オーナーの獲得をめざす。

(天野(ず)重)

中部の旺盛な意欲に照準

名古屋支店は、名古屋市一K Dビル7階に置く。延べ中区錦1の4の16、日銀前一床面積は165平方メートル。接客用の部屋を4室設けている。取り扱い物件は、築10〜15年の築浅物件が中心で、1室の価格は700万〜1800万円。定年後の資産形成のため、副業として不動産投資を始める30〜40代の会社員が増えている。同社は5年前から名古屋市内でセミナーを開催しており、参加者は

保険や相続の相談も受け付ける。名古屋支店の櫻井隆志支店長は「首都圏のマンションへの投資意欲が強い中部

地区で、営業を強化している」と話している。同社は1990年設立。13年9月期の連結売上高は145億円。